



## 「綾トープはっけんじま」を再生!

役場裏にあるビオトープ「綾トープはっけんじま」の再生イベントを、3月7日に開催しました。小学生を含む約20人が参加しました。

綾トープはっけんじまは、10年ほど前に地元の湧水を利用して整備したビオトープですが、長年の雨風の影響で、遊歩道として敷設していた丸太が腐り、歩くには危険になっているところがありました。そこで今回のイベントでは、(株)カネボウの寄付を活用し、遊歩道に防草シートを張ったうえでウッドチップを敷き、安全性の向上を図りました。

再生イベントに参加した町民や子どもたちは、一輪車やバケツいっぱいウッドチップを入れ、汗をかきながら20メートルの遊歩道を再整備。作業後には、さっそく新しくなった遊歩道を歩きながら生き物観察を行い「ウッドチップの香りにいやされる」「天気の良い日に散歩がてら訪れたい」と話していました。

「綾トープはっけんじま」に皆さんもぜひ遊びに来てくださいね。



### Event

#### 東洋紡 綾の森 一斉清掃の参加者募集

環境省の自然共生サイトに認定されている「東洋紡 綾の森」の市民参加型イベントに参加しませんか。

#### 巨木の森お掃除大作戦 & 探検ツアー

■日時／5月16日(土)

午前9時～午後3時

※雨天の場合は17日に順延

■定員／20人(先着順)

■対象／小学4年生以上

※小学生は保護者の同伴が必要

■参加料／無料

■応募方法／5月9日(土)までに専用応募フォームから申し込み

■持ち物／弁当、水筒、帽子、虫よけスプレー、筆記用具

主催・問い合わせ先  
綾町地域づくりワーキング  
(事務局:てるはの森の会)

35-72888

応募フォーム





## 大学連携事業年次報告会

綾町と宮崎大学、南九州大学が連携して取り組んでいる調査・研究の1年間の成果を各大学の担当の先生や学生が発表する報告会を3月11日に行いました。それぞれ、ユネスコエコパークの3つの機能である「生物多様性の保全」、「社会経済の発展」、「学術的研究支援（人材育成）」にかかわりのあるテーマ構成になっています。

①綾ユネスコエコパークの農産物ブランド化に向けた生態学的研究

光田靖 宮崎大学農学部教授

②森林性哺乳類の行動や生態の解明に関する研究

坂本信介 宮崎大学農学部教授

③サギ類を指標とした綾町の水田の生物多様性保全に関する研究

平田令子 宮崎大学農学部教授

④摘果日向夏果実の新規用途開発

笠慧矢朗 南九州大学大学院園芸学・食品科学研究科修士1年

⑤綾ユネスコエコパークにおける探究をベースとしたESDの実践

遠藤晃 南九州大学人間発達学部教授

宮崎大学からは、里地の水田や里山に生息する生物調査の進捗状況が報告され、町内の生物多様性の保全に関するデータの蓄積が進んでいることが分かってきました。

南九州大学からは、日向夏果実の未使用資源の活用方法を探る取り組みが報告され、今後の農産物の資源活用の可能性について考えるきっかけになりました。また、子どもの探究力の向上のために行われたさまざまな学習活動も報告され、町の教育プログラムを組み立てていくうえでの重要な情報が提供されました。

今後も、各大学と連携しながら地域課題の解決につながる事業を進め、可能な範囲でその成果について発信していきたいと思えます。

報告内容は  
こちら

